

# くすのき



## ～ 本校が目指す3つの子ども像について ～



本校では、「人間性豊かな氷丘っ子の育成～自ら学び辛抱強く努力する心豊かな子～」という学校目標を設定し、具体的にめざす児童像を「よく考える子」「すなおでやさしい子」「強くたくましい子」としています。今年度もその実現を目指し、4月より教育活動を行ってまいりました。

「よく考える子」については、加古川市が推進している「協同的探究学習」を基盤にした授業研究を学校全体で推進してまいりました。そして基幹教科といわれている国語科、そして算数科を中心に「よく考え、深い読み取りができる子」が育つ授業づくりをしてきました。読みを深めるには、他の子の意見をしっかり聴き、自分の考えを友だちと交流しながら比較し見つけ直すことで多様な考えにふれ、自分の考えを深めるという過程が必要です。それが本来の「わかる」ということにつながると考えています。

「すなおでやさしい子」については、日々の学級経営、学校生活の中で、子どもたちに皆がよい気持ちになれる「ふわふわ言葉」を勧めたり、ペアフレンド活動（異学年交流）を通してやさしい気持ちを育んだりしてきました。ペアフレンド活動では、1、6年、2、4年、3、5年が一緒に掃除をしたり、学習発表会の見合いをしたりする児童会による本校独自の取組です。今年度は昼休みに一緒に遊ぶという活動をしました。この活動を通して上級学年児童の自己有用感にもつながっています。

「強くたくましい子」については、体育科で体づくり運動の領域に力を入れたり、外遊びを推奨したりして、最近全国的に落ちていると言われている子どもたちの体力を高める取組を進めてきました。また、すぐにくじけない強い心、いじめを許さない心も道徳教育を中心に育んでまいりました。取り組んできた中で出てきた課題、改善すべき点を保護者（代表者）、児童、職員アンケートによる学校評価を踏まえて改善してまいります。

さて、もうすぐ、子どもたちが楽しみにしている冬休みです。子どもたちには、是非、地域行事にも参加してほしいものです。また、新年を迎えるにあたって家のお手伝いもしっかりしてほしいと思います。それぞれのご家庭での予定もあることと思います。子どもたちが充実した冬休みを送り、皆様が健康で新年を迎えられますようお祈り申し上げます。

## ～ 「今年の漢字一字」の季節がやってきました ～

2022年、令和4年の今年1年を表す漢字に『戦』が選ばれました。ロシアのウクライナ侵攻、北朝鮮のミサイル問題などの戦争への関心が高まったこと、サッカーワールドカップでの熱い戦い、物価高騰による家計との戦い、未だに続くコロナとの戦い等々が理由として挙げられます。ちなみに2位は「安」、3位は「楽」でした。そして『戦』は2001年にも選ばれた漢字です。

さて、『今年の漢字』は日本漢字能力検定協会が主催する師走の恒例行事です。その年をイメージする漢字一字の公募を行い、最も応募数の多かった漢字一字を、その年の世相を表す漢字として毎年12月12日に京都清水寺にて発表されます。なぜ12月12日なのかというと、12（いいじ）12（いちじ）という語呂合わせで、毎年「いい字」を少なくとも「一字」は覚えてほしいという願いが込められているそうです。

公募により決まった漢字は『戦』ですが、みなさんならどんな漢字を選びますか？ご家庭でお子様と一緒に考えてみてはいかがでしょうか。今年1年を振り返るいい機会になるのではないかと思います。

さて、ここまで耳にすると過去の「今年の漢字」が気になりませんか？裏面にてご紹介します。

## ～ インフルエンザに備えて ～

昨年度はインフルエンザの流行がありませんでした。全校的にもインフルエンザに罹患した児童はわずかでした。今年度も昨年同様にインフルエンザの流行がないことを願うばかりです。

さて、インフルエンザに罹患すると下記の期間、出席停止となります。

発症した日から起算して5日間。また解熱日を除く解熱後2日間。

学校では、手洗いやマスクの着用を励行するなど指導しています。ご家庭でも十分に子どもたちの様子に注意していただき、インフルエンザの予防をよろしく願います。



## ～ 給食の時間について ～

先日、文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課から「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」について通知がありました。学校における新型コロナウイルス感染拡大の防止と学校教育活動の継続を両立させ、児童生徒等の充実した学校生活の実現に向けて、必要な取組を進めていくようにとの内容です。

その中の「飲食の場面における感染対策について」の項目に関して、「会食に当たっては、飛沫を飛ばさないよう、例えば、机を向かい合わせにしない、大声での会話を控えるなどの対応が必要です。」とあります。学校での給食指導に関して、新型コロナウイルス感染対策以前も、机を向かい合わせにして食べていたこと以外は、これと同様の指導です。「口の中に食べ物を入れて話をしない」「食事中に大声で話さない」などは食事中のマナーとして必要な指導であるためです。

楽しい給食の時間にするために、放送委員会が色々な音楽を流してくれたり、給食委員会が今日のメニューの紹介とクイズをしてくれたりしています。最近では、先生への給食インタビューをするなどの工夫もありました。

今後も新型コロナウイルス感染拡大の有無に関わらず、食事中のマナーを守って、楽しい給食の時間を過ごすことを念頭において指導していきます。



## ～ ご協力ありがとうございました ～

来年度の学級数の決定のために、1回目の転出予定調査を実施いたしました。保護者の皆様には大変お忙しい中、調査にご協力いただきありがとうございました。

この調査は、来年度の学級数を確定するために大切なものです。そのため、3学期に再度調査を実施しますが、今後、転出入の予定のある方、また急な転出が決まった方はその都度、学校までご連絡いただけるとありがたいです。よろしく願います。

1995年	震	兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）。地下鉄サリン事件により社会不安が拡大
1996年	食	O-157による集団食中毒が多発して学校の給食などにも影響。
1997年	倒	大型企業倒産・銀行破綻が相次ぐ。サッカー日本代表、ワールドカップで強豪倒して出場決定。
1998年	毒	和歌山毒物カレー事件の余波で毒物混入事件が多発。ダイオキシンの不安。
1999年	末	世紀末。東海村 JCO 臨界事故。
2000年	金	シドニーオリンピックで、女子柔道の田村亮子（県・競子）が金メダル、女子フルマラソンの高橋尚子が金メダル。金大中と金正日による初の南北首脳会談。「きんさん」（成田きん）死去。
2001年	戦	アメリカ同時多発テロ事件。アメリカのアフガニスタン侵攻。世界的な不況。
2002年	帰	初の日朝首脳会談。北朝鮮に拉致された日本人5人が帰国。
2003年	虎	阪神タイガースが18年ぶりに優勝。
2004年	災	新潟県中越地震。台風23号が上陸して多大な被害を与えた。美浜発電所の事故や三菱リコール隠し事件。
2005年	愛	愛・地球博の開催。紀宮清子内親王と黒田慶樹の結婚。卓球・福原愛の中国での活躍。純愛物語電車男ブーム。
2006年	命	悠仁親王の誕生。いじめによる自殺問題などの命の不安。
2007年	偽	食品表示偽装が次々と表面化。年金記録問題の発覚。防衛省の汚職問題の発覚。某テレビ番組による捏造問題。
2008年	変	サブプライムローン問題に端を発した世界経済の大変動。変革を訴えたオバマ氏が次期米大統領に選出。首相交代など政治の変化
2009年	新	政権交代で新内閣が発足。裁判員制度や高速道路料金割引制度などの新制度。新型インフルエンザの流行。さまざまな「新しいこと」に期待し、希望を抱いた1年。
2010年	暑	記録的な猛暑で熱中症にかかる人が続出。チリ落盤事故で地中の暑い中から作業員全員が生還。小惑星探査機「はやぶさ」が暑さを耐えて地球に帰還。
2011年	絆	東日本大震災をはじめ、台風やタイの洪水などの災害が相次ぎ、人と人との絆が見直されたこと。サッカー女子ワールドカップで初優勝した“なでしこジャパン”のチームワークなどが反映。
2012年	金	ロンドン五輪での史上最多のメダル獲得。京都大の山中伸弥教授のノーベル賞受賞。金環日食。消費税増税論議など。
2013年	輪	日本中が輪になって歓喜に湧いた年。人とのつながりの「輪」を感じた1年。未来に向けたさらなる「輪」を実感、注目。
2014年	税	消費税の増税など、税に関する問題が長く議論された1年。
2015年	安	安全保障関連法案の審議。テロ事件や異常気象などの不安。「安心してください、はいてますよ」の人気フレーズから。
2016年	金	リオデジャネイロオリンピックで多くの金メダル獲得。政治と金の問題。「PAPP」を歌うピコ太郎氏の衣装などから。
2017年	北	北朝鮮による弾道ミサイルの発射。九州北部での豪雨。北海道産ジャガイモの不作。北海道日本ハムファイターズ大谷翔平選手の大リーグへの移籍などから。
2018年	災	西日本豪雨、北海道東部地震、大阪府北部地震などの自然災害が多発。スポーツ界のパワハラなど人為的災害。
2019年	令	この年5月からの新元号「令和」から。
2020年	密	三密「密閉」「密集」「密接」から。
2021年	金	オリンピックでの多数の金メダルの獲得から。各界で金字塔が打ち建てられたことから。新500円硬貨発行。
2022年	戦	ウクライナとロシアの戦争。サッカーワールドカップの戦い。物価高騰による家計との戦い。コロナとの戦い。

過去の『今年の漢字』を見てみますと、プラスの意味での漢字はあまり見られません。どちらかというと、大きな事件からマイナスのイメージにあたる漢字が選ばれているように思います。そんな中であっても、プラスイメージの漢字が選ばれている年もちゃんとあります。

令和4年度、2022年度も残すところあと3ヶ月。氷丘小学校の子どもたちにとって、この1年間がプラスの漢字で終われますように。

今後の“今年の漢字”がステキな漢字でありますように。